

令和 2 年度

2級実験動物技術者認定試験

各 論  
(サル類)

試験時間 : 13 時 00 分 ~ 15 時 00 分

解答は答案用紙の該当欄の○を1つ鉛筆で黒く塗りつぶしてください。  
○をはみ出したり塗りつぶし方が不十分にならないよう注意してください。

令和 2 年 8 月 2 日

(公社)日本実験動物協会

## 各論：サル類

それぞれの設問について、該当するものを選び、解答用紙の該当欄の○を鉛筆で黒く塗りつぶしてください。

1. サル類の年齢の推定はどこでできるか。
  - 1) 爪のケラチン層の状況
  - 2) 手のしわの数
  - 3) 被毛のクチクラ層の状況
  - 4) 歯牙の萌出状態
  
2. 寿命 10～15 年のサル類はどれか。
  - 1) チンパンジー
  - 2) ヒヒ類
  - 3) マーモセット類
  - 4) ニホンザル
  
3. 寿命約 40 年のサル類はどれか。
  - 1) カニクイザル
  - 2) アカゲザル
  - 3) リスザル
  - 4) チンパンジー
  
4. サル類について正しいのはどれか。
  - 1) 輸入検疫は特に必要がない。
  - 2) 人獣共通感染症に感染している可能性は非常に低い。
  - 3) 輸入サル類の順化期間は十分に設ける必要がある。
  - 4) 一般的に知能は非常に低い。
  
5. わが国が輸入するカニクイザルの原産地域（繁殖地域）はどれか。
  - 1) 東南アジア地域
  - 2) 南米地域
  - 3) オセアニア地域
  - 4) アフリカ地域
  
6. マカク属サル類の頸椎数はいくつか。
  - 1) 5
  - 2) 7
  - 3) 9
  - 4) 11

7. マカク属サル類の胸椎数はいくつか。
- 1) 6
  - 2) 8
  - 3) 10
  - 4) 12
8. マカク属サル類の腰椎数はいくつか。
- 1) 7
  - 2) 8
  - 3) 9
  - 4) 10
9. マカク属サル類の仙椎数はいくつか。
- 1) 2
  - 2) 3
  - 3) 4
  - 4) 5
10. マカク属サル類の肋骨は何対か。
- 1) 9
  - 2) 10
  - 3) 11
  - 4) 12
11. マカク属サル類の永久歯は何本か。
- 1) 32
  - 2) 34
  - 3) 36
  - 4) 38
12. マカク属サル類の右肺の分葉の説明で正しいのはどれか。
- 1) 前葉、中葉、後葉の3葉
  - 2) 前葉、中葉、後葉、副葉の4葉
  - 3) 前葉、後葉の2葉
  - 4) 前葉、後葉、副葉の3葉
13. サル類の安静時の呼吸数はどれか。
- 1) 10～15回/分程度
  - 2) 20～25回/分程度
  - 3) 30～40回/分程度
  - 4) 45～65回/分程度

14. 体重3～7kgのサル類の循環血液量（体重1kgあたり）はどれか。

- 1) 50～80ml程度
- 2) 90～120ml程度
- 3) 130～160ml程度
- 4) 170～200ml程度

15. 世界中に存在するサル類の数（種類）はどのくらいか。

- 1) およそ50種類
- 2) およそ100種類
- 3) およそ150種類
- 4) およそ200種類

16. 真猿類について正しいのはどれか。

- 1) 真猿類はキツネやリスに似ている。
- 2) 真猿類のことを下等霊長類という。
- 3) 真猿類は広鼻猿と狭鼻猿に分けられる。
- 4) 真猿類のことを中等霊長類という。

17. 原猿類について正しいのはどれか。

- 1) 原猿類はロリス類とアイアイ類に分けられる。
- 2) 原猿類のことを下等霊長類という。
- 3) 原猿類はヒトと形態、機能が比較的よく似ている。
- 4) 動物実験に使用されるサル類の大部分は原猿類である。

18. 原猿類に属するのはどれか。

- 1) チンパンジー
- 2) コモンリスザル
- 3) アイアイ
- 4) ニホンザル

19. 真猿類に属するのはどれか。

- 1) カニクイザル
- 2) ニシメガネザル
- 3) インドリ
- 4) スローロリス

20. 広鼻猿に属するのはどれか。

- 1) アカゲザル
- 2) コモンマーモセット
- 3) チンパンジー
- 4) ニホンザル

21. 医学生物学の実験に用いられるサル類は何種類ぐらいか。
- 1) 5種類
  - 2) 10種類
  - 3) 20種類
  - 4) 30種類
22. アカゲザル、カニクイザル、タイワンザルを飼育する場合に飼養等許可を環境省から受ける必要性を定めている法律はどれか。
- 1) カルタヘナ法
  - 2) 外来生物法
  - 3) 家畜伝染病予防法
  - 4) 動愛法
23. アカゲザルについて正しいのはどれか。
- 1) 中型のサルでニホンザルと同じ属に分類されている。
  - 2) 体毛は全体に赤褐色をしている。
  - 3) ヒトに良く慣れ、攻撃性は強くない。
  - 4) 知能は低く、情動行動の表現に乏しい。
24. カニクイザルについて正しいのはどれか。
- 1) 中央アジアの砂漠に棲む。
  - 2) 10～15cmの短い尾を有する。
  - 3) 体毛は全体に赤褐色である。
  - 4) アカゲザルよりひと回り小さい。
25. コモンリスザルについて正しいのはどれか。
- 1) 狭鼻猿に属する大型のサルである。
  - 2) メガネザル科に属する。
  - 3) 体長よりも長い尾を有し、体毛は黄色い。
  - 4) 尾は、体長の1/3程度の長さである。
26. マーモセット科のサル類について正しいのはどれか。
- 1) いずれの種も、毛色は白色である。
  - 2) 動作は緩慢で、水平移動しかできない。
  - 3) ラット位の大きさである。
  - 4) いずれの種も、短い無毛の尾を持っている。

27. サル類のツベルクリン反応検査について正しいのはどれか。
- 1) 検疫期間中、1週間以上の間隔をあけ、3回以上実施する。
  - 2) 検疫期間中、2週間以上の間隔をあけ、3回以上実施する。
  - 3) 検疫期間中、1週間以上の間隔をあけ、2回実施する。
  - 4) 検疫期間中、2週間以上の間隔をあけ、2回実施する。
28. サル類のツベルクリン反応検査でツベルクリン液の注射法はどれか。
- 1) 臀部皮内注射
  - 2) 上腕部皮下注射
  - 3) 眼瞼皮内注射 P156下段
  - 4) 大腿部皮下注射
29. 次のうち、サル類の糞便検査で検出目的となる病原体はどれか。
- 1) Bウイルス
  - 2) マイコプラズマ
  - 3) 赤痢菌
  - 4) 結核菌
30. 正常なサル類の所見として正しいのはどれか。
- 1) 被毛は粗になっている。
  - 2) 皮膚は乾いている。
  - 3) 口唇は乾いている。
  - 4) 耳翼がぴんと張っている。
31. 正常なサル類の所見として正しいのはどれか。
- 1) 被毛はつやがなく乾いた感じがする。
  - 2) 顔面は色あせている。
  - 3) 頭を下げたままうつむいている。
  - 4) 鼻孔はやや湿った感じがする。
32. サル類の疾患で、感染症法に基づき獣医師が届出する必要のある感染症の組合せで正しいのはどれか。
- 1) 細菌性赤痢、コレラ
  - 2) 細菌性赤痢、エボラ出血熱
  - 3) マラリア、マールブルグ熱
  - 4) コレラ、Bウイルス感染症

33. サル類の疾患について、感染症法に基づき獣医師が届出する場所はどこか。
- 1) 都道府県庁所在地の保健所
  - 2) 都道府県庁所在地の家畜保健衛生所
  - 3) 所轄（最寄り）の保健所
  - 4) 所轄（最寄り）の家畜保健衛生所
34. サル類と同様にビタミンCを体内合成できない動物はどれか。
- 1) イヌ
  - 2) ネコ
  - 3) ラット
  - 4) モルモット
35. アカゲザルの主食としての「市販のサル類固型飼料」の給与量はどのくらいか。
- 1) 40～90 g/日
  - 2) 100～150 g/日
  - 3) 160～210 g/日
  - 4) 220～270 g/日
36. マーモセットで発症するクル病の原因は何か。
- 1) ビタミンA欠乏
  - 2) ビタミンC過多
  - 3) ビタミンD欠乏
  - 4) ビタミンE過多
37. サル類の給餌回数について正しいのはどれか。
- 1) 1日1～2回
  - 2) 1日3～4回
  - 3) 1日5～6回
  - 4) 不断給餌
38. 1日あたりの摂水量10～50 mlのサル類はどれか。
- 1) ニホンザル
  - 2) リスザル
  - 3) アカゲザル
  - 4) カニクイザル
39. サル類の捕獲・保定のための麻酔について正しいのはどれか。
- 1) 通常、塩酸ケタミンの筋肉内注射をする。
  - 2) 注射直後の効果発現前にケージから取り出す。
  - 3) 背部あるいは頬部に筋肉内注射をする。
  - 4) 針先が血管内に入ったかどうかの確認は不要である。

40. 無麻酔下でのサル類の捕獲・保定に関して正しいのはどれか。
- 1) サルの正面から腰部をわしづかみにする。
  - 2) 背後から腕を抑えると骨折の可能性があるので危険である。
  - 3) 熟練は必要ないので、未経験者でもできる。
  - 4) 防護具、捕獲網、狭体装置、首輪などを用いて行う。
41. サル類の個体識別として一般的な方法はどれか。
- 1) イヤーパンチ法
  - 2) 入墨法
  - 3) 耳標装着法
  - 4) 色素塗布法
42. マーモセット類の雌の性成熟年齢はいつぐらいか。
- 1) 1歳
  - 2) 1.5歳
  - 3) 2歳
  - 4) 2.5歳
43. マカク属サル類の月経周期の長さの平均はどのぐらいか。
- 1) およそ10日
  - 2) およそ15日
  - 3) およそ21日
  - 4) およそ28日
44. マーモセット類の妊娠期間は平均何日か。
- 1) 145日
  - 2) 164日
  - 3) 170日
  - 4) 175日
45. ニホンザルの妊娠期間は平均何日か。
- 1) 145日
  - 2) 155日
  - 3) 165日
  - 4) 175日
46. 次のうち、一般的に1産で2子以上生むサル類はどれか。
- 1) マカク属サル類
  - 2) マーモセット類
  - 3) ヒヒ類
  - 4) チンパンジー



47. カニクイザルの繁殖について正しいのはどれか。

- 1) 年中繁殖動物である。
- 2) 季節繁殖動物である。
- 3) 長日繁殖動物である。
- 4) 短日繁殖動物である。

48. マカク属サル類の体重測定に使用する秤の適切な秤量はどれか。

- 1) 1～2 kg
- 2) 10～30 kg
- 3) 50～80 kg
- 4) 100～150 kg

49. カニクイザルの出生子の体重はどのくらいか。

- 1) 100～150 g
- 2) 200～250 g
- 3) 300～350 g
- 4) 400～450 g

50. サル類の離乳が可能な時期はいつ頃か。

- 1) 3か月齢頃
- 2) 6か月齢頃
- 3) 8か月齢頃
- 4) 10か月齢頃